

=====

ESET Mobile Security V4.1 リリースノート (Build 4.1.35.0)

キヤノン I T ソリューションズ株式会社

=====

■はじめに

キヤノン I T ソリューションズ製品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。
このリリースノートには、ESET Mobile Security（以後、本製品または EMS
と記載）を正しく利用頂くための情報が記載されています。
本製品をインストールする前に必ずお読みください。

■インストール前の注意事項

本製品をインストールする前に、以下の内容を確認してください。

- ・ 本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされていないことを確認してください。本製品以外のウイルス対策ソフトウェアがインストールされている場合は、必ずアンインストールしてください。
- ・ インストールは、端末の [設定] ⇒ [セキュリティ] の「提供元不明のアプリ」をチェックしてから行います。(Android8.0/8.1/9.0 を除く)
- ・ Android 8.0/8.1/9.0 の場合は、プログラムをダウンロードしたアプリケーション (Chrome を利用してダウンロードした場合は Chrome) の許可が必要になります。事前に許可がない場合、インストール開始時に設定を求められますので「この提供元のアプリを追加」をチェックしてインストールを続行します。
- ・ 画面ロックアプリなどの「他のアプリの UI：他のアプリの上に重ねて表示」権限を他のアプリケーションが使用していると、「インストール」ボタンが押せません。本製品をインストールする前には、このようなアプリの動作の停止、または「他のアプリの UI」権限を持つ機能を無効にしてください。

□旧製品 (EMS v1) をご利用の場合

- ・ 本製品は、EMS v1 からの上書きインストールには対応していません。
本製品をインストールする前に、旧製品をアンインストールしてください。
旧製品の設定を引き継ぐことはできません。

- ・旧製品にて、利用している端末の Gmail アドレスを使用して、ユーザ名/パスワードを取得していた場合は、本製品をインストールすると、自動的に既存のライセンス情報でアクティベーションされます。自動的にアクティベーションされない場合は、製品認証キーを使って、アクティベーションを手動で行ってください。

旧製品（EMS v2.0、EMS v3.0、EMS v3.2、EMS v3.3、EMS v3.6、EMS v3.9）をご利用の場合

- ・EMS v2.0、EMS v3.0、EMS v3.2、EMS v3.3、EMS v3.6 や EMS v3.9 をご使用の場合は、ダウンロードしたファイルを選択し、そのままインストールを行ってください。ライセンス情報や設定は、そのまま引き継がれます。
- ・本バージョンの EMS v4.1 は、Android 4.1 以降のみ対応しております。Android 2.3 / 3.0 / 3.1 / 3.2 / 4.0 をご利用の場合、バージョンアップできません。

■使用上の注意事項について

本製品を使用する前に、以下の内容をご確認ください。

インターネット接続環境について

本製品を使用するには、Android デバイスが直接インターネットに接続できる環境が必要です。

マルチユーザー環境下での動作について

マルチユーザー環境下での本製品の動作についてはサポート対象外です。

Android 4.4 以降で、「SMS フィルタ」が利用できない。

OS の仕様変更に伴い、Android 4.4 以降では、「SMS フィルタ」を利用できません。

インストール後、ライセンス情報入力前に、「通信が失敗しました」:

無効なデータが入力されました。」と表示される。

本製品は、インストール後の初回起動の際、端末の Google アカウント情報を、EMS ライセンスサーバーに照会に行きます。この際、Google アカウントが登録されていないと、このエラーが発生します。「スキップ」を選択して、アクティベーションを行うか、端末の Google アカウントを正しく登録してください。

□Android 5.1 以降で通知バーに ESET のアイコンが表示されない。

Android 5.1、Android 6.x、Android 7.x、Android 8.x や Android v9.x では、EMS は Google のガイドラインに従い、設定で「通知」を有効にしても、EMS のアイコン (e) を表示しなくなりました。

通知バーを下にスライドさせると、ESET の動作状況が表示されます。

また、EMS のアイコンが表示されていなくても、スキャン中や何か脅威が見つかった場合は、その状況を示すアイコンが表示されます。

■既知の問題について

本製品には、以下の問題と制約があります。

これらの問題については、将来のリリースで修正される可能性があります。

□Android 5.0 に対するワイプ機能の完了通知が行われません。

Android 5.0 に対してワイプ機能を実行した際、完了したことが通知されません。

□Android 7.x 以降でアプリのメニューからセキュリティパスワードの入力無しで本製品をアンインストールできる現象について

Android 7.x 以降に本製品をインストールした場合に、アプリのメニューからセキュリティパスワードの入力無しで本製品をアンインストールできる現象を確認しています。

□フィッシング対策機能が Opera Mini で動作しません。

フィッシング対策機能が Opera Mini で動作しません。フィッシングサイトにアクセスすると警告画面や履歴への記録されますが、アクセスが拒否されません。

□プロアクティブ保護の設定

盗難対策のプロアクティブ保護の「ロック解除の施行が失敗する最大回数」と「訂正猶予時間」の設定がそれぞれ3回と30秒で固定値され、設定を変更しても設定が反映されません。

さらに、Android 8/Android v9 の場合、端末がロックした際、アンチセフトによる写真が撮影されません。

■盗難対策・アンチセフト機能の注意事項

- ・本製品の盗難対策には、ワイプ（データの削除）機能や、端末のロックおよび勝手に写真を撮影したりサイレンを鳴らしたりする機能があります。これらの機能を不用意に実行しますと、端末のデータを失ったり、操作ができなくなったり、周囲より有らぬ誤解を招く恐れがありますので、ご注意ください。
- ・盗難対策を有効にする際は、端末を外に持ち出す前に、実際の動作を確認して頂きますよう、強くお勧めします。
- ・端末のロックやサイレンの解除には、ESET Mobile Security のセキュリティパスワードが必要になります。これらの機能をテストする前に、「設定」⇒「セキュリティパスワード」のロックがパスワードで解除できるかを確認してください。

■EMS v2 からの変更点

- ・ウイルス対策
 - 「充電中に検査」に対応しました。充電中に満充電になると、検査が行われます。

- ウイルス定義データベースの構造が見直され、1回の更新時におけるデータのダウンロード量が減少しました。
- 検出したマルウェアの詳細情報が見られるようになりました。
- 定義ファイル更新サーバーに、テスト用の公開前サーバーを指定できるようになりました。
- ・盗難対策
 - ポータルサイトの my.eset.com 経由でアンチセフト機能を実行できるようになりました。
ワイプ（データ削除）、位置検出、IP アドレス取得、サイレン（警報音）、写真撮影、メッセージ（端末画面にメッセージを表示）、パスワードリセットが利用できます。
 - my.eset.com 経由のアンチセフトは、SMS が利用できない端末でも利用可能です。
 - 画面ロック解除を複数回失敗する等の不審な動作を検出し、前もって端末をロックすることが可能になりました。
- ・その他
 - Android 5.0 に対応しました。

■EMS v3 (Build 3.0.1272) からの変更点

- ・ Y!mobile/Softbank 回線での定義ファイル更新
 - Y!mobile/Softbank のモバイルネットワーク経由で、ウイルス定義ファイルの更新ができない問題を修正しました。
- ・ Android 5.1 に対応しました。

■EMS v3.2 (Build 3.2.4.0) からの変更点

- ・ Android 6.0 に対応しました。

■EMS v3.2 (Build 3.2.46.0) からの変更点

- ・ Android 6.0 で盗難対策のワイプが正常に実行できない問題を修正しました。

■EMS v3.3 (Build 3.3.27.0)からの変更点

- ・ Android 7.0 に対応しました。
- ・ アクティベーションするためのキーがユーザ名とパスワードから製品認証キーに変更されました。

■EMS v3.6 (Build 3.6.47.0)からの変更点

- ・フィッシング対策機能が標準ブラウザ以外の多くのブラウザに対応しました。
- ・セキュリティレポート機能が追加されました。
- ・Android 8.0 に対応しました。

■EMS v3.9(Build 3.9.28.0)からの変更点

- ・EMS の様々なログを表示するアクティビティログが追加されました。
- ・Android OS がルート化された場合、セキュリティ監査機能でそれを警告できるようになりました。
- ・検出エンジンの自動的な更新間隔が3時間固定になりました。
- ・Android 8.1 に対応しました。

■EMS v4.1(Build 4.1.20.0)からの変更点

- ・アプリケーションの起動時に、認証を設ける「アプリのロック」機能が搭載されました。
- ・GDPR (General Data Protection Regulation) に対応しました。
- ・アクティビティログが手動で削除可能になりました。

■EMS v4.1(Build 4.1.35.0)からの変更点

- ・「アプリのロック」の機能が改善されました。
- ・Android 9 に対応しました。

■製品情報

本製品に関する Q&A は、以下の URL から参照することができます。

ESET 製品ページ：

<https://eset-info.canon-its.jp/>

ESET 製品 Q&A ページ：

<https://eset-info.canon-its.jp/support/>